

金壹万八千參百貳拾圓
 金壹万參千八百拾四圓四拾八錢
 金參万五千參百八拾七圓九錢
 金五万參千六百八拾四圓拾四錢貳厘
 金壹万五千貳百六拾圓九拾九錢九厘

建設費
 難工事費
 器具器械費
 事務所費
 土地購買及借地料

○拔萃

土 木

○普魯亞國々有鐵道ノ試驗軌道

(The Railway Gazette, Aug 30, 1907) 千九百六年十二月普國々

有鐵道ハ特別ナル試驗用曲線軌道ヲ伯林ヲ距ルコト約二十哩ノをらにゑんぶるぐノ側ニ建
 設シテ作業ニ着手シタ其レハ多數ノ試驗ニヨリテ次ノ様ナ事項ヲ決定セントスルノデア
 (1) 曲線軌道ノ豎直及ビ水平ノ向キニ對シテ各種ノ道床ト枕木ノ種々ナルモノガ如何ナル
 影響ヲ及ホスカ

- (2) 曲線及ビ直線軌道ニ於ケル軌條接合ノ種々ノ形ノ有効度
- (3) 曲線及ビ直線軌道ニ於ケル軌條ノ磨損

該軌道ハ橢圓形デ兩端ニハ各半徑六百五十六呎ノ半圓ガアツテ是等ヲ八百二十呎ノ直線デ

聯接シ周回約五千七百六十二呎(約一哩一分)デ曲線部ニハ四吋九二ノ高度ト〇、〇九五吋ノ軌
 間餘裕トガ與ヘテアル高度ハ直線トノ接點四ヶ所デ三百分一、五百分一、千分一、千五百分一、ノ
 四通リノ勾配ガ付ケテアル是ハ各種ノ勾配ガ走行車輛ニ如何ナル影響ヲ與フルカラ試験ス
 ルタメデアアル

動力ハ六千ばると、交番電流ヲ架空線デ供給シ車輛トノ間ニハ摺動接觸ヲ用ユル

五十八噸ノ發動車ガ二輛アツテ各車ハ六輪ばギ一、二個ツ、ヲ有シ電動機ハ四個デ不變走行
 Steady running ニハ各四十五馬力ヲ發生シ最大百十馬力小時間ナレバ百二十五馬力マデ發生

シ得ル將來ハ不變走行ノ時ノ馬力ヲ各六十ニ増加シ之ニ若干ノ貨車ヲ聯結シテ百九十噸ノ
 列車ヲ編成シ一時間三十一哩ノ速度ヲ絶ヘズ維持セシムル目論見デアアル

軌道ノ側ニアル小舎内ニ轉換器、電流計等ヲ備ヘテ爰カラ電流ノ供給ヲ節制シ列車ニハ乗務
 員ヲ置カズ日曜大祭日ヲ除ク外毎日二十時間ツ、走行セシメ回走數ハ自記セシム一時間三
 十一哩ノ速度トスレバ一日ニ該軌道ヲ五百七十周回スルコトニナリ百九十噸ノ列車ヲ用ヒ
 一年ノ作業日數ヲ三百トスレバ軌道ノ各部ニハ一年間ニ三千二百万噸ノ重量ガ通過スルコ
 トニナル

此試験軌道ニテ注意スベキ根本的ノコトハ各種ノ構造ヲ全ク同ジ様ナル狀況デ比較スルコ
 トデ仮令バ軌條接合ヲ試験スルナラバ枕木、道床ナドハ全軌道總テ同一ノモノデ又枕木ノ比
 較試験ヲナスニハ軌條及ビ其接合并ニ道床ナドハ總テ同一デナケレバナラヌト云フノ類デ
 アル

(は、志)